

2018情報通信月間参加行事 報告書

行事ID	Ce057M	行事名	①科学技術館サイエンス友の会 実験教室「見えない電波をつかまえてみよう!」 ②科学技術館サイエンス友の会 施設見学会「見えない電波を見てみよう!」	
行事形式	①実験教室 ②施設見学会	主催団体	(公財)日本科学技術振興財団・科学技術館	
開催日	①5/19 ②6/10	開催場所	①科学技術館6階実験工房 ②科学技術館4階実験スタジアムL・関東総合通信局	
行事参加者数	①28名 ②42名	WebサイトURL	http://www.isf.or.jp/	
行事実施概要・アピール等				
<p>①科学技術館の会員制組織「サイエンス友の会」を対象に、午前・午後の2回、実験教室を実施した。まず、参加者に身近にある「電波を用いている機械」を発表させ、いかに我々が日頃から電波を活用しているかを確認した。次いで、アンテナについて概説した後、各自で用意したラジオ受信機を手に、“電波探検隊”となって科学技術館の屋上を散策し、場所や機械の向きによる電波の強弱や、受信に対する建物などの影響を実験した。</p> <p>②科学技術館の会員制組織「サイエンス友の会」を対象に、電波に関する仕事、特に監視業務についての施設見学会を実施した。前半は科学技術館での座学で、電波が身近なものであることと、そこには決まり事があることを紹介した。後半は、館からほど近い総務省関東総合通信局を訪ね、DEURAS(デューラス:電波監視システム)センターを見学し、電波の利用方法や取り締まりについて学んだ。また、アンテナの歴史と原理も分かりやすく解説いただいた。</p> <p>参考:関東総合通信局e-コムフォKANTO「施設見学会の開催」 http://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/e-komfo/30/0615kc.html</p> <p>両日とも、東京都電波適正利用推進員協議会会長の参加も得て、電波にはルールがあることや、その相談窓口である電波適正利用推進員について紹介頂いた。また、総務省・電波適正利用推進員協議会、一般社団法人電波産業会、一般財団法人情報通信振興会などより、電波や情報通信に関する様々なグッズや資料を参加者に提供頂いた。</p>				

←ロードバース...セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

